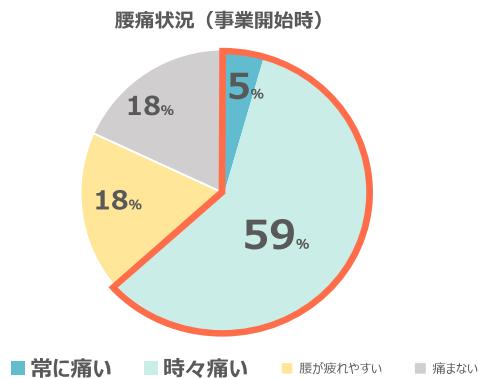




腰痛アンケート調査 令和4年6月

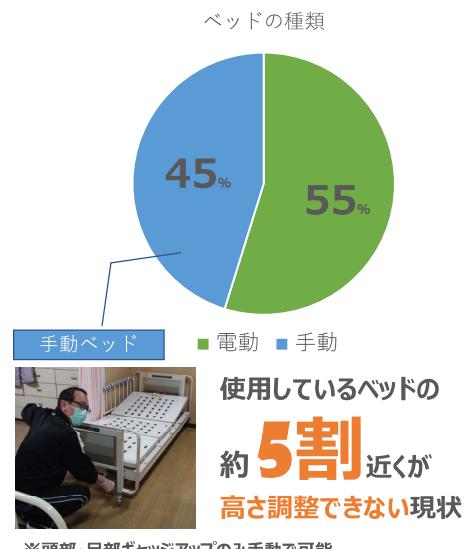


介護職員の全体の
約 **6割** が腰痛ありと回答

ノーリフティングケア開始時の現状…



「ヘッドの高さは、まっすぐ立った時の拳の高さに」
不良姿勢を防ぐためのノーリフティングケアの基本だが…





最初に取り組んだこと…



GREEN STORM

緑

八女の里
ユニフォームカラー

嵐

周囲を巻き込む
多くの人に影響を与える



教育と個別プランニング



マネジメント研修
技術研修



GREEN STORM
まずは少数のコアメンバーへ



コアメンバーから
スタッフへ伝達



BEFORE



バスタオル使用による
2人介助



車椅子から
抱え上げての
上方移動



ベッド上抱え上げての
上方移動
摩擦があり移動できない

限られた電動ベッド使用者を避選、優先順位で個別プランニングを設定

AFTER



ボード + シート 留位移乗



ボード使用 座位移乗



スライディングシート
使用での上方移動
シート使用で
双方にとって楽に



リスク抽出

ヒヤリハット等のリスク抽出サイクルは整っていたが
スタッフ視点での抽出がなかった



リスクボード作成

リスク抽出

検討

計画（購入）

実施（導入）

評価・改善

多くの意見の中から
まずは1つをPDCAで実践しよう



洗濯物関連を優先項目へ
Change
変化



バケツ抱え上げ → 腰に負担 → 台車購入 → 腰への負担0



ラウンドチェック1回/月 ラウンド実施



電動ベッド ✓



タイヤ空気圧 ✓



姿勢チェック ✓



環境への取組み

すきま時間ストレッチでセルフケア



いつも目にして
すきまが生まれる場所を
スタッフへ聞き取り

厨房前 E V内外 各フロア
ランキング上位箇所に
これだけ体操ポスター掲示

EV前でこれだけ体操



事務職員もこれだけ体操



福祉用具導入

今年度、数々の取組みにより
電動の介護ベッド購入の許可が下りる

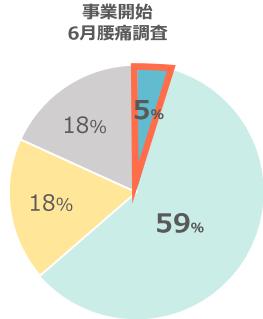
今年度は、半導体不足などの理由で導入困難なため、

次年度

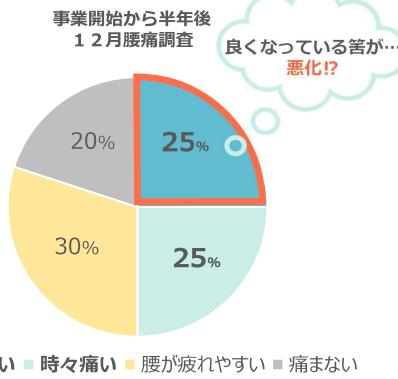
**電動ベッド10台の
福祉用具導入計画が決定！**



しかし、半年後の腰痛アンケート調査は…



比較



■ 常に痛い ■ 時々痛い ■ 腰が疲れやすい ■ 痛まない



腰痛悪化20%増加 原因分析

2F
長期入所・ショートステイ

1F
長期入所・
ショートステイ

夜勤職員3名
対応

腰痛が悪化した職員へのインタビュー
「コロナ対策でのエリア固定化がつらかった」

2F
長期入所

2名対応

1F
ショートステイ
限定

1名対応

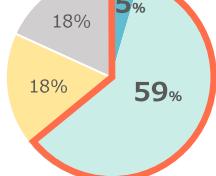
その結果、「ショートステイで外部から来て利用される方」や「職員」のコロナウイルス感染が判明した際に、その後の感染拡大を最小限に抑えることができた

しかし…。
職員同士のフォローが困難となり、特に夜間帯の少ない人数で、より職員の負担が大きくなつた
→感染対策と職員負担軽減は今後の課題！

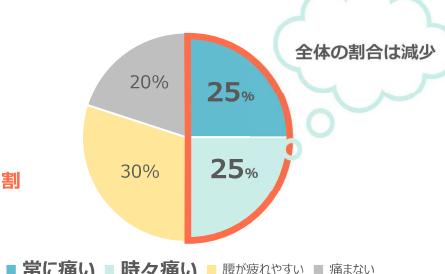


詳細分析 良くなった所も

事業開始
6月腰痛調査
約6割



約5割



■ 常に痛い ■ 時々痛い ■ 腰が疲れやすい ■ 痛まない

さらに回答の詳細を見てみると…

業務に持ち上げ・抱え上げの介助負担があると回答した人

77%

22%

持ち上げ・抱え上げがあると回答した人の持ち上げの具体例

ベッドへの移乗
入浴 トイレ

入浴・トイレ
ポジショニング

今回一番取組みを進めた
ベッド移乗時の持ち上げ・抱え上げ介助
負担は減少！



まとめ

看護部長
統括・健康管理担当

作業療法士主任

福祉用具導入計画・
管理担当

介護課長
教育担当

介護職員

個別アセスメント・
プランニング担当

介護職員

個別アセスメント・
プランニング担当

以前は根付かなかったノーリフティングケア

今回の取組みを通して、ノーリフティングケアが「失敗で終わらない」ためにはPDCAサイクルで改善していくマネジメントが重要！

上手くいかず困難なこともあったが、それぞれの長所を生かしたチームワークで乗り越えた

今後も課題は多いが、



チームの『合言葉は』
ENJOY
楽しむこと